

月刊 AEHA通信

2020 年9月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

- ◇トピックス : 家電製品アドバイザーなどの資格試験にCBT方式を導入
- ◇主な委員会活動等 : 製品安全委員会等
- ◇協会インフォメーション : 今後の行事予定等
- ◇定点観測データ : 家電リサイクル法対象4品目引取実績等
- ◇溜池ボイス : 帰省の規制



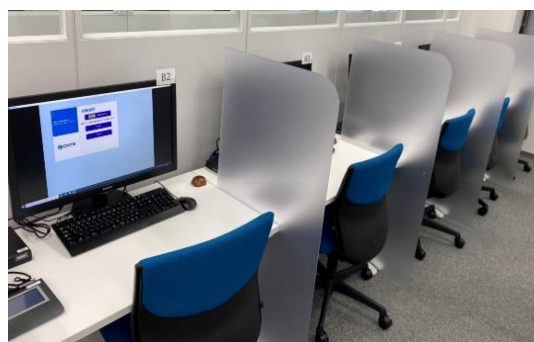
■トピックス■

◆家電製品アドバイザーなどの資格試験にCBT方式を導入

9月開催の認定試験について、これまで全国・同時一斉型で実施してきた試験方式に代えて、コンピュータを活用し受験者の都合に合わせて受験日時・受験会場を選択できる「CBT 方式試験（以下「CBT」という）」を試験的に導入いたします。

9月と3月の年2回、全国主要都市にて試験会場を設置し開催してきましたが、本年3月に予定していた試験は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止しました。また、9月試験においても、同感染症の影響から受験申請開始時期の順延を余儀なくされてきたなかで、受験者の安全確保と安定した試験開催などの観点から、かねてより検討を進めていた「CBT」にて実施いたします。

この「CBT」は、いわゆる“3密”回避に配慮した試験スタイルであると共に、試験日程や試験会場などの選択肢が広がり、受験機会が拡大することが特徴です。



(CBT専用試験会場イメージ)

1. 試験実施時期 : 9月7日(月)～9月20日(日)
2. 試験会場 : 全国のCBT専用試験会場
3. 試験科目
 - ①家電製品アドバイザーの試験科目 :
「AV情報家電」、「生活家電」の両資格区分ともに「商品知識と取扱い」と「CSと関連法規」
 - ②エンジニアの試験科目 :
「AV情報家電」、「生活家電」の両資格区分ともに「基礎技術」と「応用技術」
 - ③スマートマスターの試験科目 :
「スマートハウスを支える機器・技術の基礎」、「スマートハウスの基礎」

CBT方式試験について、一般財団法人家電製品協会認定センターのホームページに掲載しています。

<https://www.aeha.or.jp/nintei-center/procedure/examination/>

■□■主な委員会活動等■□■

<消費者部関連>

◆製品安全委員会

本委員会は、製品ライフサイクル全般にわたる製品安全確保の取り組み、個社では解決の難しい共通課題についての調査・研究、並びに施策の実施を目的として活動を行っています。

○第4回 電動車 AC100V 電源検討 WG（8月28日 Web 会議）

1. 供給電源の波形品質と想定リスクについて
2. 感電保護に関して想定されるリスクについて
3. 携帯型発電機におけるアースの考え方について
4. 災害時における家電製品への給電に関する注意事項について

◆UD技術委員会

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

○UD技術委員会事前会議（8月20日 Web 会議）

1. 家製協ガイド「ICT 機器連携に関するアクセシビリティ配慮事項」に関する各グループの内容確認、課題、今後の進め方について
2. 第4回委員会議事次第と進め方について

○第4回UD技術委員会（8月28日 Web 会議）

1. 家製協ガイド「ICT 機器連携に関するアクセシビリティ配慮事項」の作成について
2. JIC S 0013 改訂について
3. TC159 委員 ISO2400 定期見直しについて
4. 第1回「子どもの特性に基づく人間中心設計に関する国際標準化委員会」について

◆消費者啓発委員会

本委員会では、近年の消費者関連の法令や制度の改正・拡充に対応し、行政、消費生活センター、消費者団体との交流を一層深めることで、消費者問題に対する業界の積極的な取り組み姿勢をPRしています。

○第2回消費者啓発委員会（8月27日 Web 会議）

1. 消費生活センター向け Q&A 改訂 更新項目について
2. 「暮らしと家電製品」更新の方法について
3. ユニバーサルデザイン配慮家電製品ページガイドラインについて

◆アフターサービス委員会

本委員会では、長期使用製品の安全点検の効果的、効率的な仕組みや、アフターサービスに係る行政からの指導事項への対応を行っています。

○第2回アフターサービス委員会（8月20日 Web 会議）

1. 「製品安全総点検月間（11月）」に合わせた啓発チラシの配布計画と今後の対応について
2. 消費生活センター向け Q&A 「修理関連」の改訂について

<技術部関連>

◆第5回 省エネルギー対策委員会（8月19日）

2020 年度第5回の省エネルギー対策委員会を WEB 会議により、開催いたしました。主な議題は以下のとおりです。



1. 前回議事メモ案の確認
2. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
3. 関連 WG(啓発WG、おすすめBOOK編集会議)の活動報告

○第5回 省エネ家電温暖化防止啓発WG（8月18日）

2020年度第5回の省エネ家電温暖化防止啓発WGをWEB会議により、開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事メモ案の確認
2. 2020年7月度アクセス状況の確認
3. ホームページ本編(大人版)の第2次データ更新のテストサイト確認
4. ホームページキッズ版のデータ更新箇所の検討

＜環境部関連＞

◆第35回 製品アセスメント委員会（8月27日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨(案)確認
2. 2020年度 事業計画の推進状況について

○2020年度第1回 製品アセスメントマニュアル改定WG（8月28日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 製品アセスメント委員会委員長ご挨拶
2. 委員挨拶
3. 主査・副主査選任
4. 2020年度 製品アセスメント委員会事業計画について
5. 2020年度 製品アセスメントマニュアル改定WG活動計画について
6. 既発行資料類の内容確認
7. 今後の進め方について

○2020年度第1回 リサイクル配慮設計検討WG（8月31日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 製品アセスメント委員会委員長ご挨拶
2. 各委員挨拶
3. 主査・副主査選任
4. 2020年度 製品アセスメント委員会事業計画について
5. 2020年度 リサイクル配慮設計検討WG活動計画について
6. 既発行資料類の内容確認
7. 今後の進め方について

◆第40回家電リサイクル委員会（8月25日）

主な議題は以下のとおりです。

1. RKCセンターサーバーリプレイス対応計画について
2. 3回目の家電リサイクル法見直し審議会の状況について
3. ワーキンググループの活動報告
 - (1)RKC 関連 WG
 - (2)年次報告書作成 WG
 - (3)小型電気電子機器 WG
 - (4)普及広報活動
4. 令和元年度再商品化等実績について
5. 特定臭素系難燃剤の閾値に関する欧州委員会への意見書について



なお、委員会開催に先立ち、2020 年度の家電リサイクル委員会総会を開催し、下記議題について検討、報告を実施しました。

1. 2019 年度事業報告
2. 2020 年度事業計画(案)について
3. 家電リサイクル委員会推進体制について

<管理部関連>

◆第5回家電ハンドブック編集専門委員会（8月21日）

2020 年版「家電産業ハンドブック」の第5回編集専門委員会を8月 21 日に実施しました。

第5回も感染症予防の為、委員全員がリモートでの会議となりました。従来、第5回委員会では初校校正となり、各社2人1組にて作業にあたりますが、今回はリモートでの校正となるため実際の作業は翌週となり、委員会では主に参考資料編など全体的な事項の審議を行いました。

今後、9月初旬の再校校正を経て、10 月中旬を発刊予定としています。また、発刊と同時に、その抜粋版(統計資料編の官庁発表関連データを主に掲載)は、協会 HP に掲載予定です。



■□■協会インフォメーション■□■

◆人事異動

日 付	氏 名	新	旧
2020年8月17日	蔭山 武士	家電リサイクル券センター 次長 (嘱託職員採用)	—

◆今後の行事予定

年	月 日	時 間	行 事	主な議題等	場 所
2020	10月26日(月)	16:00～17:00	第16回 理事会	2019年度事業報告等	家製協 第1会議室 +リモート
	12月 2日(水)	16:00～17:00	第33回 運営委員会	部門別活動報告等	家製協 第1会議室 +リモート
2021	2月19日(金)	15:00～17:00	第34回運営委員会	理事会、評議員会事前説明等	家製協 第1・2会議室
	3月 4日(木)	15:00～17:00	第17回理事会	事業計画、収支予算等	家製協 第1・2会議室
	3月 15日(月)	15:00～16:30	第17回評議員会	報告事項等	家製協 第1・2会議室

※10月26日(月)に予定していた「第4回家電産業交流会」は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止いたします。

なお、同日予定の理事会については、場所を家製協会議室に変更し、リモートを含め開催いたします。

■□■ 定点観測データ ■□■

◆家電リサイクル法対象4品目引取実績（8月度）

2020年8月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	672	102%	2,379	105%
2.テレビ 計	363	120%	1,618	122%
① ブラウン管式	85	101%	438	106%
② 液晶式・プラズマ式	278	127%	1,180	129%
3.冷蔵庫・冷凍庫	419	103%	1,719	106%
4.洗濯機・衣類乾燥機	441	110%	1,952	107%
合 計	1,895	107%	7,667	109%

（うち指定法人）

（台数：千台）

品 目	当 月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	7	103%	24	107%
2.テレビ 計	21	133%	101	139%
① ブラウン管式	7	111%	37	119%
② 液晶式・プラズマ式	14	148%	64	154%
3.冷蔵庫・冷凍庫	30	97%	126	94%
4.洗濯機・衣類乾燥機	9	108%	39	105%
合 計	66	108%	290	109%

◆家電製品PLセンター相談等受付件数実績（8月）

2020年8月相談等受付件数は247件（累計672件）です。

詳細は、家電製品PLセンターホームページのインフォメーションを参照願います。

<https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/index.html>

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2020年6月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。

<https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasui202006.pdf>



■□■ 溜池ボイス ■□■

◆帰省の規制

9月、まだまだ暑さは続くものの、暦の上ではもう夏も終わりです。今年は全国的に帰省自粛、さらに東京都民は「Go to Nowhere」で、例年とは違う8月だったと思います。特に毎年帰省先でお盆を迎える方々には、田舎のご両親とも会えない寂しい夏休みだったことでしょう。



ところでこのお盆とは、年に1度、あの世からご先祖様が戻ってくると伝えられ、先祖の霊を祀り、供養する仏教上のセレモニーですが、そもそも何故お盆に先祖の霊を供養するのか、お盆の由来なんて考えたことがありませんか。

勿論、「お盆」は「TRAY」の事ではありません。「お盆」の名は、仏教の「盂蘭盆経(うらぼんきょう)」というお経に由来すると言われ、この「うらぼん」とは古代インドのサンスクリット語の「ウラバンナ」を語源とし、その意味は「逆さ吊りの苦しみ」だそうです。つまり、「お盆」は「逆さ吊りの苦しみ」から生まれたという事で、そこには次のような話が伝えられています。

むか～し昔、釈迦に目連(もくれん)という弟子がいたそう。彼には神通力が備わっており、その力で亡くなった母親が地獄で「逆さ吊りの刑」で苦しんでいることを知ってしまい、なんとか母親を助けたいと釈迦に教えを乞いました。すると釈迦は、「中元節」(旧暦の7月15日)に多くの高僧を手厚く供養すれば、母を三途の苦しみから救えるだろうと説きました。目連がそのとおりに実践したところ、無事、母親を「往生」させることができましたとさ。めでたし、めでたし。



お盆といえば8月15日のイメージがありますが、旧暦の7月15日ということは、新暦では「イースター」のように毎年変動します。因みに今年のお盆は8月13日に始まったそうです。しかし、逆さ吊りとは酷いですね。来年は是非帰省して、家族・親族そろってご先祖様を供養してあげたいものです。



本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。

【配信停止方法】

本メールの配信の停止をご希望される方は、会社(団体等)名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を本メールの返信にてご連絡ください。



〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-7-1 霞が関東急ビル 5 階 代表 tel.03-6741-5600

